

ワークショップ

ワークショップ 1

肝細胞癌に対する肝移植 - Japan 基準導入から肝癌治療ストラテジーを再考する -

詳細：

肝細胞癌に対する肝移植適応は、”ミラノ基準もしくは 5-5-500 基準を満たす患者 (Japan 基準)” となった。これまでの肝癌肝移植に対する肝移植成績、そして新基準によって適応拡大される群の成績を発表頂き、肝癌治療戦略にどのような影響があるか議論したい。

ワークショップ 2

低侵襲ドナー手術の成績と展望

詳細：

内視鏡手術の進化と普及に伴い、生体肝移植ドナー手術への適応が期待されている。小開腹から、Hybrid・完全鏡視下手術まで、低侵襲化に向けた各施設における定型手技と成績を発表頂き、今後の MIS ドナー手術の展望について議論したい。

ワークショップ 3

肝移植における術中麻酔管理と周術期管理

詳細：

肝移植においては、術中の大量出血や並存する重要臓器障害との対峙が余儀なくされる。重症例における術前管理、術中の麻酔管理、術後急性期の呼吸循環管理は、肝移植成功への重要な鍵となる。外科のみならず、麻酔・集中治療に関わる麻酔科・内科から積極的にご発表頂きたい。

ワークショップ 4

脳死肝移植マージナルドナーへの考え方と移植成績

詳細：

脳死肝移植件数の増加に向けて、マージナルドナー/グラフトの有効活用は重要である。これまでの脳死肝移植におけるマージナルドナー/グラフトの肝移植成績についてご発表頂き、”マージナル” の定義と進むべき方向性について議論したい。

ワークショップ 5

レシピエントコーディネーターの働き方改革

詳細：

医療界で働き方改革が進む中で、コーディネーターの働き方も変革を求められている。人員不足や後進育成など多くの課題がある中で、コーディネーターがより魅力的な仕事となるよう各施設におけるコーディネーターの働き方の現状や工夫、課題についてご発表頂きたい。

ワークショップ 6

肝硬変診療の進歩と肝移植適応の変化

詳細：

C型肝炎治療や難治性腹水・高アンモニア血症といった肝硬変治療、栄養療法が進歩する中、肝移植適応となる症例がどのように変化したか、またこうした内科的治療の進歩が肝移植周術期管理にも影響を与えたか、ご発表頂きたい。

ワークショップ 7

小児肝移植の現状と課題

詳細：

希少疾患に対する肝移植や、複数臓器不全を有する場合の肝移植適応、分割肝移植の成績など、小児肝移植全般にわたり現状と課題をご発表頂きたい。

ワークショップ 8

Machine Perfusion の可能性と展望

詳細：

脂肪肝ドナーや死後ドナーといったマージナルグラフトの可能性を追求するために Machine Perfusion (MP) が期待されている。実験データや国外での経験も含めて、技術的側面や費用側面など幅広くご発表頂き、本邦における MP の臨床応用の可能性についてご発表頂きたい。